

■河井寛次郎 陶芸家。陶芸を全て自己の表現と見做し、民芸運動にも挺身、天才的技法を背景に、自由な作品創作。

かわいかんじろう

帝国議会始・1890＝ 島根県安来町(現安来市)に河井家の次男として生まれる。生家は代々棟梁をつとめる旧家。

日清戦争始・1894＝ 4歳：

Bushidou・・1899＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝15歳： 島根県立第1中学校入学。在学中に「叔父の勧めで将来陶芸の道に進むことを決意する。

アヲキ創刊・1908＝18歳：

韓国併合・・1910＝20歳： 東京高等工業学校窯業科に入学。窯業実習を担当していたのは板谷波山であった。

明治天皇没・1912＝22歳：

大正政変・・1913＝23歳： 後輩の浜田庄司を知り、以後生涯にわたり親交をもつ。

第一次大戦始1914＝24歳： 東京高等工業学校を卒業。京都市陶磁器試験場に技師として入所。粕藁の研究に励む。

民本主義・・1916＝26歳： 浜田庄司が同試験場に入所。下宿をともし、研究、制作につとめる。

ロシア革命・1917＝27歳： 京都市陶磁器試験場を辞職。五条坂の清水六和(5代六兵衛)の工房で陶業研究顧問を勤める。

本格政党内閣1918＝28歳： 浜田庄司とともに初めて沖縄の窯場を旅行する。

大暴落・・・1920＝30歳： 清水家の所有する持窯を譲り受け独立。同所に住居を構え、工房を鐘漢窯と名づける。

原敬首相暗殺1921＝31歳： *第1回創作陶磁展を東京高島屋で開催。その後、大阪高島屋でも開催。中国古陶磁研究の成果を発表し、一躍注目を集める存在となる。以後翌年から3年連続して創作陶磁展を開催。

関東大震災・1923＝33歳：

護憲三派圧勝1924＝34歳： 浜田がイギリスより帰国、河井家に滞在。彼の紹介で京都に移住した柳宗悦と親交。北大路魯山人来訪。

治安維持法・1925＝35歳： 第5回創作陶磁展を開催。柳と丹波へ、柳、浜田と伊勢、紀州など各地を旅行。「民芸への関心を深め、作風はしだいに実用を意識した質実なものに展開する。

円本時代始・1926＝36歳： *柳、河井、浜田、富本の4名の連名で日本民芸美術館設立趣意書を発表する。

金融恐慌・・1927＝37歳：

変化に富んだ器形・粕藁の用法に特色があり、なかでも「辰砂」の技法を得意とした。

満州事変・・1931＝41歳：

芥川直木賞始1935＝45歳：

日中戦争始・1937＝47歳： 「パリ万国博覧会においてグランプリ受賞。

大政翼賛会・1940＝50歳： 作陶20周年記念展覧会を大阪、東京高島屋で開催。

日米開戦・・1941＝51歳：

年金+総武装 1944＝54歳： この時期、戦時下で窯に火が入られず、文筆に没頭する。

敗戦・・・1945＝55歳：

「敗戦後は、一層自由な造型を試み、陶板・陶彫などにも独自の作域を示し、

朝鮮戦争始・1950＝60歳： この頃から木彫像の制作を始める。陶器も従来の形にとられない自由なものが発表される。

独立回復・・1951＝61歳： 作陶30周年記念展覧会を東京、大阪高島屋で開催。

TV放送始・・1953＝63歳：

なべ底不況・1957＝67歳： 陶業40年展を京都、東京、名古屋で開催。*ミラノ・トリエンナーレ国際工芸展でグランプリを受賞。

安保闘争・・1960＝70歳：

全国総合計画1962＝72歳：

いざなぎ景気1966＝76歳： 「没した。